



# 楓の誉

R7.5.23(第2号)  
文責: 高田 幸伸

## 「美しい! 第四回 体育大会」

テーマ: Advance 仲間と努力をして進化し続ける

五月十八日(日)、第四回体育大会を開催しました。前日まで危ぶまれた天候も回復し、曇天無風の絶好となりました。⑥

本体育大会のテーマの「Advance 仲間と努力をして進化し続ける」の達成に向けて、各団、団長やリーダーを中心にまとまり、白熱した競技が繰り広げられました。

体育大会が終わった直後、本年度転勤してこられた先生が、

「美しい!こんな体育大会は、これまで見たことがない。」と話されていました。生徒たちの練習の様子や競技に向かう姿、応援の様子、最後に肩を組みながら校歌を歌う姿など、本当に感動した体育大会でした。



〈↑ テーマ看板〉

僕が団長をやりたいと思った理由は、中学校最後の体育大会を最高の思い出にしたいと思ったからです。それに深くかわる事が出来るのが、団長である僕は考えました。しかし、実際に団長として100名以上の団員をまとめることは、思った以上に難しいことでした。団練習をスムーズにできるように毎日の計画を考え、団員の動きが遅いときには厳しく言わなくてはなりません。つらいこともたくさんありましたが、人を動かすことができることへのやりがいを感じました。それ以上に赤団や学校全体が段々とまとまってくることが嬉しくて、楽しんで、本当に団長をしてよかったと思います。本番でもみんなが盛り上がる事ができ、その結果総合優勝、応援の部優勝を勝ち取ることが出来ました。優勝できた時は、すごくうれしかったし、これまでついてきてくれた団員に感謝の気持ち

ちでいっぱいになりました。体育大会は終わりましたが、この体育大会での経験を活かして、これからの学校生活がみんなにとって楽しく充実したものになるように頑張っていきたいと思えます。

赤団団長

引き受けた理由は、最後の体育大会を楽しみたいものにしたかったからです。小学校一年生の時から団長にあげられていたのだからよかったです。団長をして感じたことや考えたことは、人をまとめることは難しいということです。指示を出しているときに喋っている人やふざけている人がいて、指示が通らないことがあります。静かにしよう!などと呼びかけを工夫すると指示が通るようになりました。団全体を見て指示をすることはとても大変だということもわかりました。今後は、体育大会で優勝することができなかったのに、合唱コンクールやクラスマッチでいい成績をとることができるようになりました。頑張りたいです。そして体育大会、団長を通して学んだことを忘れずに学校生活を送っていききたいです。

黄団団長

私が団長を引き受けた理由は、2つあります。一つ目は、今までの団長を見て私も、先輩たちのようにみんなを引っ張っていきたくて思ったからです。私は、もともとみんなの前で何かを頑張ったりするのが好きで、自分の力で青団を引っ張っていきたくて、みんなと一緒に頑張りたいと思ったからです。二つ目は、みんなで体育大会を成功させたかったからです。みんなで体育大会を成功させるためにも、まずは団長という立場になってみんなのお手本になるように頑張ろうと思ったからです。団長をして感じたこと、考えたことは、まずみんなをまとめ引っ張って行くのは大変なことでした。自分の指示がうまく通らず団長としての役割がどれほど大変かを感じました。そこで、私はどうやったら、みんなに指示が通るのか、みんなが私たちに注目してくれるのか、みんなが楽しみながらできるのかについて、それを沢山考えました。自分だけでなく応援団員や担任の先生に相談して、これからどうしていくかなどをみんなで考えて、それを行動に移してみると、みんなが自分たちに注目してくれている感じがしました。みんなで考えてよかったと何回も感じました。私は、今後体育大会で学んだことを大切にしていきたいと思っています。この経験を無駄にしないようにいろいろ考えて、挑戦して、行動に移して頑張っていきたいと思っています。

青団団長

## 「ハンセン病問題を学び、語り継いでいくために」ハンセン病市民学会

五月十一日(日)にハン

セン病市民学会の分科会Dテーマ:「未来に手渡すために」歴史資料館の取り組みと展望本校の取組について、現人権委員長の



〈↑ 報告の様子〉

さん、卒業生のさん、本校の

教諭が、約三十分の報告をしました。報告の中では、昨年まで本校に勤務され、本校のハンセン病に関する学習の礎を築いてこられた

先生にも、リモートで参加していただき学習に対する思いを話していただきました。生徒たちは、緊張もありましたが、これまでの取組を丁寧に発表すると同時に、学んだことを語り継いでいくという決意を確認する機会となりました。

報告後、分科会参加者の感想に「このような学習、教育ができていくことは、恵楓園に隣接する立地は勿論ですが、入所者、退所者とその家族の皆様が楓中の生徒に対する協力と期待があるからだと思います。」とありました。

その思いを胸に刻み、これからも学び、発信し続けていきます。また、このような機会をいただきました関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

学校生活の様子や様々な情報は、本校HPに随時、掲載していますので、こちらをご覧ください。



学校HPのQRコード